

きらり

私たちは「きらり」と輝くんや

平成21年11月 2日(月) 山根

教科書を学びながら進むべき道を探す

中学校での勉強は本当に沢山のことを学習しています。さまざまな教科で広く知識・技能を学んでいます。

そんな中、自分にとって、興味がある分野を探すきっかけにもなっています。

理科で、星について興味をもったから、「星に関するしごと」に就きたい。だから天文台に就職しようかなとか。

歴史を学んで、戦国武将の鎧甲に興味をもったので、歴史博物館の学芸員になるとか。

人体で心臓、肝臓、腎臓、胃、腸などを習い、人間の体って、本当にうまくできているな。また、皮膚を少しすりむいても、自然に治癒したり。本当に不思議で、素晴らしい力をもっている。もっと勉強して、病気を治す医者になりたいなど。

将来の自分の生き方を決定づける学習の単元に出会うかもしれません。

「つまらない」「こんなもの習って何の役にたつんやろ」と思う時があるかもしれませんが、毎日の授業の中で、自分は将来どう生きていくべきかということに、気づかされるかもしれません。

また、それまで、自分では決して気づくことがなかった、しかも時間を忘れて夢中になれるものを見つけることが出来るかもしれません。

一生懸命勉強し、多くの知識を身につけていくことが、人生の選択肢を増やしていくことにつながり、それは自分にとって、可能性を広げることにもなります。

勉強して得をすることがあっても、損をすることはありません。プラスになっても、マイナスになることは絶対ありません。

一見無駄だと思える知識も、ある日、突然、役立つことってありますよ。

坂中生 がんばれよ！



